



令和6年度 長崎市立三重中学校

令和 6 年 11 月 13 日

学校だより

わくわくする学校

文責

合言葉「考えて行動する」

長崎市立三重中学校

<http://www.nagasaki-city.ed.jp/mie-j/>

校長 田添 俊和

## 学力調査(全国・県・市)の結果から・・・② 「読む力(読解力)」

～リーディング・スキル・トレーニング (Reading Skill Training)～

先日お知らせしたように、学力調査の結果から、生徒たちの「読解力(読む力)」が不足していることが明らかになりました。これは、教科書の内容を理解したり、問題文を正しく読んだり、授業の説明を理解したりする上で、大きな障壁となっています。教科書の内容は、文章で説明されているものがほとんどです。そのため、文章を正確に理解できないと、学習内容を把握することはできません。

読解力が不足すると、授業の内容が理解できず、テストの成績が伸び悩んだり、新たな知識を獲得することが難しくなる可能性があります。また、図や表、グラフなどの視覚情報から適切な情報を読み取る力も、読解力と深く関連しています。

そこで、本校では、読解力向上に向けた取組を始めました。まず、授業においては、教師が伝える言葉や提示する文章が、生徒たちに的確に伝わるよう工夫すること、読解力の基礎となる語彙力や漢字力、構文力の習得を図ること、さらに、短学活の時間に「リーディング・スキル・トレーニング」を導入しました。

読解力を高めることは、単に国語の成績向上だけでなく、すべての教科の学習基盤を築くことにつながります。文章を正確に、そして速く理解できるようになれば、授業の内容をより深く理解し、問題解決能力を高めることができます。

読解力は、社会に出てからも必要とされる重要な力です。毎日少しずつでも、読書や文章読解に取り組む習慣を身に付けさせたいものです。読解力の向上は、子どもたちの将来を大きく左右する可能性を秘めています。読解力を高めることで、単に知識を身に付けるだけでなく、将来、どんな困難な課題にも立ち向かい、自ら考え、行動できる人になってほしいと願っています。



### 三者面談(3年)・教育相談(1・2年)

子どもたちの成長には、様々な可能性と飛躍のタイミングが秘められています。教育相談は、そうした成長の機会を最大限に活かすための大切な活動です。先生に気軽に相談することで、自分自身の将来について深く考え、よりスムーズに成長していくことができるでしょう。

特に、3年生は、将来の夢に向かって、どんな進路を選択するか、どの学校に進学し、どんなことを学びたいかなど、例えば、将来は〇〇になりたいけど、そのためにはどんな勉強が必要なのか、どの高校に進学するのが良いのかなど、様々なことを考え、悩んでいることと思います。将来を大きく左右する重要な決断です。新しい世界への第一歩を踏み出すにあたり、不安や期待など、様々な思いが渦巻いていることでしょう。

今回の三者面談・教育相談を機に、お子様自身が将来について深く考え、具体的な目標に向かって一歩を踏み出すきっかけにいただければ幸いです。学校としても、保護者の皆さまと連携し、子どもたちの未来を一緒に支援していきたいと考えております。もし、何か不安なことがあれば、気軽に相談してください。